

評価基準表を用いた課題研究の評価(令和2年度)

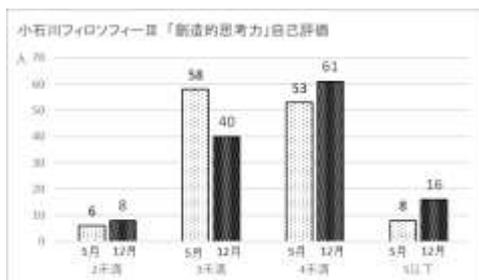
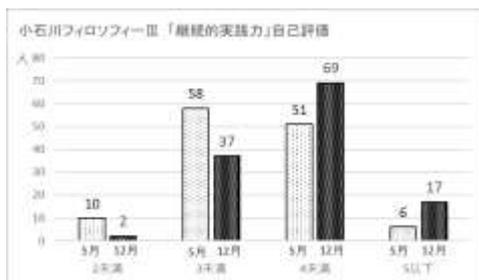
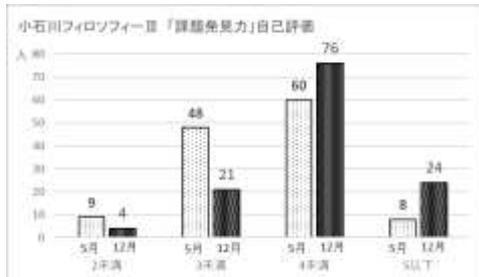
SSH 部

1. 課題研究の評価

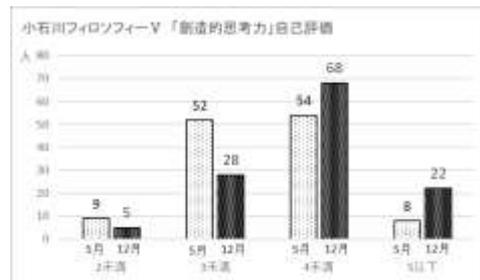
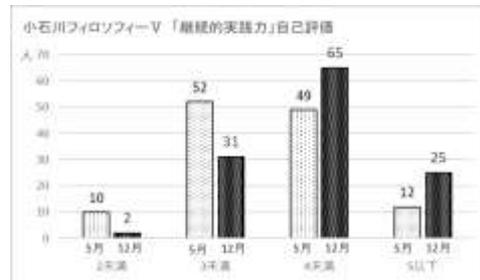
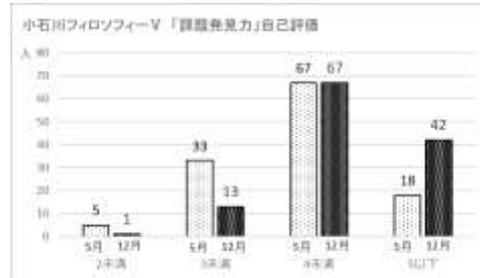
課題研究の授業では、教師が目指すべき方向を生徒に示し、生徒は改善を繰り返しながら研究を進めることが求められる。教師と生徒が目指すべき方向を共有し、生徒の意欲を高めることが、課題研究評価の大きな目的である。

3年生における「小石川フィロソフィーⅢ」、5年生における「小石川フィロソフィーⅤ」では、「課題発見力」「継続的実践力」「創造的思考力」の育成を目標に、様々な講座に分かれて課題研究を行う。講座ごとに特色ある課題研究が行われており、必ずしも目指すべき方向が揃っていない。そこで、すべての講座で共通して身につけさせたい力について評価基準表を作成し、担当教員及び、生徒の共通理解を図ることとした。

(1) 小石川フィロソフィーⅢ 生徒の自己評価

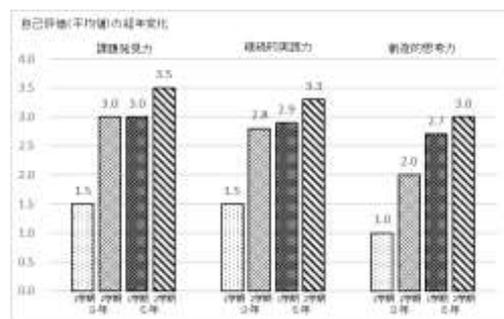


(2) 小石川フィロソフィーⅤ 生徒の自己評価



2. 成果と課題

どちらの学年でも、5月の自己評価と比較し、12月の自己評価の上昇が見られた。自己評価表を目標に、生徒が学びを深めたことが伺える。また、今年度5年生が3年生のとき(一昨年)に行った自己評価からの経年変化を見ても、生徒の成長を読み取ることができた。



自己評価の伸びが小さい4年生において、指導の充実を図ることで、生徒のさらなる成長が期待できる。